

令和5年度 高等部 1年 ( II課程 A類型①②グループ ) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3	1学年 人数等 17 名		くらしに役立つ 国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階)</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	<p>(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(高1段階A(ウ))</p> <p>(思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア)</p> <p>(学・人) 言葉が持つ良さを感じ、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。</p> <p>(思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つ良さを感じ、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	<p>単元名「自己紹介をしよう」</p> <p>・自己紹介シートを作ろう</p>	<p>・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容)</p> <p>・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容)</p> <p>・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)</p>
	8	<p>(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(高1段階ウ(ウ))</p> <p>(思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Cオ)</p> <p>(学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとすることができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。</p> <p>(思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つている。</p> <p>(主学) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとしている。</p>	<p>単元名「読書に親しもう」</p> <p>・図書館オリエンテーション</p> <p>・読書活動</p>	<p>・図書館オリエンテーションを通して、図書館の利用方法を確認する。(知及び技に関する内容)</p> <p>・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容)</p> <p>・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)</p>
	12	<p>(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。(中1段階イ(ア))</p> <p>(思判表力) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえることができる。(中2段階Cイ)</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解している。(中1段階イ(ア))</p> <p>(思・判・表) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえている。(中2段階Cイ)</p> <p>(主学) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとしている。(高1段階)</p>	<p>単元名「新聞を読もう」</p> <p>・新聞記事を読もう</p> <p>・レッツ・チャレンジ・NIE</p>	<p>・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容)</p> <p>・新聞記事を読もう</p> <p>・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容)</p> <p>・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)</p>
	8	<p>(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。【高1段階】</p> <p>(思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階B(ア)】</p> <p>(学・人) 手紙で相手に感謝の気持ち伝える良さに気づくことができる。【高1段階】</p>	<p>(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができる。</p> <p>(思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文を整えて書くことができる。</p> <p>(主学) お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	<p>単元名「お礼状を書こう」</p> <p>・お礼状の作成</p>	<p>・手紙の正しい書き方に基いて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容)</p> <p>・校内実習で学んだことや、手紙を受け取る相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容)</p> <p>・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)</p>

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	12	(知及技)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。(高1段階ウ(イ)) (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階A工) (学・人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知及技)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。(高1段階ウ(イ)) (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話している。(中1段階A工) (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おう	・丁寧語の使い方や身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書く家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	22	(知及技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。(中2段階イ(ア)) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。(中2段階イ(ア)) (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えている。(高1段階Cア) (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・蜘蛛の糸 ・生きる	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)お礼状の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B(ア)) (学・人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技)お礼状の意義や書き方を理解して書くことができる。 (思・判・表)相手や目的を意識した表現になっているか確かめ、文を整えて書くことができる。 (主学)お礼状作成を通して、言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中2段階ウ(ウ)ア) (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(中2段階Bウ) (学・人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。(中2段階イ(ア)) (思判表力)語と語や文と文との関係を基に、必要な情報を抽出し、内容の大体を捉えることができる。(中2段階Cイ) (学・人)言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表)語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。 (主学)言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとしている。	単元名「情報を読み取ろう」 ・手紙・案内文	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、間に対する答えを導き、語句や文章で表現する。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(高1段階ウ) (思・判表力)書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えることができる。(中2段階Bイ) (学・人)自分の考えや思いを素直に表現しようとするすることができる。(高1段階)	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えている。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「手紙を書こう」 ・お礼の手紙	・一年を振り返り、親しい友人やお世話になった先生にあてて、文例を参考にしてお礼の手紙を書く。(知及び技に関する内容) ・関わりの中で最も楽しかった出来事や思い出、感謝の気持ちを項目毎にメモでまとめ、お礼の手紙を作成する。(思判表力に関する内容) ・自分の思いや考えを、素直に文章で表現する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程 A類型③④）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部1年 13名		ゆっくり学ぶ子のための国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)表現するために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げることができる。(中2段階工) (思判表力)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる。(中2段階アイ) (学・人)言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めようすることができる。(高1段階)	(知・技)表現するために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。 (思・判・表)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にしている。 (主学)言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めようとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・季節の言葉(春) ・自己紹介	・季節にまつわる言葉や自分の好きな物にまつわる言葉を考える。季節行事の歴史について学習する。(知及び技に関する内容) ・春の風物詩として「入学式」「桜」「菜の花」「こいのぼり」など具体的な言葉を挙げるができる。自分の好きなもの、文字やイラストで紹介することができる。(思判表力に関する内容) ・季節に関するいろいろな言葉を使って、季節の特徴や良さを考えることができる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(高1段階アウ) (思・判表力)平和への思いや気持ちを言葉や絵などで表現することができる。(中2段階アイ) (学・人)自分の考えを文や文章で相手に伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 (思・判・表)平和への思いや気持ちを言葉や絵などで表現している。 (主学)自分の考えを文や文章で相手に伝え合おうととしている。	単元名「表現力を高めよう」 平和へのメッセージ	・物語や映像などを通して沖縄戦について学ぶ。(知及び技に関する内容) ・物語や映像の鑑賞から感じたことを、平和へのメッセージとして言葉や絵などで表現する。(思判表力に関する内容) ・平和へのメッセージとして、平和の大切さや戦争の悲惨さについての考えを伝える。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げることができる。(中1段階アエ) (思判表力)相手や目的を意識して、見聞きたことや経験したことから書くことを選び、伝えることができる。(中2段階Bア) (学・人)自分の考えや思いを素直に表現しようことができる。(高1段階)	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。 (思・判・表)相手や目的を意識して、見聞きたことや経験したことから書くことを選び、伝えていく。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「お礼の手紙を書こう」 ・お礼の手紙	・実習を振り返り、学んだことやお世話になった先生へ伝えたいことを考える。(知及び技に関する内容) ・体験したことや相手との関わりの中で心に残った出来事や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼の手紙の中で、自分の気持ちや相手への思いを伝える。(学・人に関する内容)
2 学期	10	(知及技)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。(中2段階ウイ) (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階A工) (学・人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。 (思・判・表)相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めようⅡ」 ・しまくとぅば ・敬語	・沖縄の昔話や方言カルタを通して、うちなーぐちの挨拶やことわざを学習する。場面に応じた常体と敬体の使い分けを学習する。(知及び技に関する内容) ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知っている。(中1段階ウイ) (思判表力)様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中2段階Cア) (学・人)読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。(高1段階)	(知・技)読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを理解している。 (思・判・表)様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 (主学)読書に親しむ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・てぶくろをかいに ・どきん	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容) ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。(思判表力に関する内容)

	15	(知及技) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。(中1段階A(I)) (思判表力) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。(中2段階B(A)) (学・人) 自分の考えや思いを素直に表現しようとするができる。(高1段階)	(知・技) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えている。 (主学) 自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「お礼の手紙を書こう」 ・お礼の手紙	・実習を振り返り、学んだことやお世話になった先生へ伝えたいことを考える。(知及び技に関する内容) ・体験したことや相手との関わりの中で心に残った出来事や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼の手紙の中で、自分の気持ちや相手への思いを伝える。(学・人に関する内容)
3 学 期	5	(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(中2段階B(ウ)) (学・人) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・カルタや福笑い、双六などの正月遊びに取り組み。文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(I)) (思判表力) 様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中2段階C(A)) (学・人) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを理解している。 (思・判・表) 様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 (主学) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・かさじぞう ・どきん	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容) ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。(思判表力に関する内容)
	10	(知及技) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。(中1段階A(I)) (思判表力) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。(中2段階B(A)) (学・人) 自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。(高1段階)	(知・技) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えている。 (主学) 自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「手紙を書こう」 ・お礼の手紙	・一年を振り返り、親しい友人やお世話になった先生へ伝えたいことを考える。(知及び技に関する内容) ・相手との関わりの中で最も楽しかった出来事や思い出や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼の手紙の中で、自分の気持ちや相手への思いを伝える。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等	・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。				

令和 5年度 高等部 1年 ( II課程 B類型 ) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
105	高等部1年10名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階)</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	<p>(知及技) 運筆のワークシートに取り組むことができる。(中1段階：A(エ))</p> <p>(思判表力) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階：B(ア))</p> <p>(学・人) 身近なものの名前に興味を持ち書こうとすることができる。(小3段階)</p>	<p>(知・技) 直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができる。</p> <p>(思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。</p> <p>(主学) 身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。</p>	単元1 「運筆練習をしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆やペン、クレヨン、チョークなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。(知及び技に関する内容)</li> <li>持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。(思判表力に関する内容)</li> <li>様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。(学・人に関する内容)</li> </ul>
	12	<p>(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階：A(ア))</p> <p>(思判表力) 絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中1段階：C(ア))</p> <p>(学・人) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみをもち、話の面白さを感じることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) 好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。</p> <p>(主学) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみをもち、話の面白さを感じることができる。</p>	単元2 「絵本の読み聞かせ①」	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容)</li> <li>音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容)</li> <li>周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。(学・人に関する内容)</li> </ul>
	11	<p>(知及技) 発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話することができる。(中2段階：A(イ))</p> <p>(思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。(中2段階：A(工))</p> <p>(学・人) 授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。(中2段階)</p>	<p>(知・技) 発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話することができる。</p> <p>(思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。</p> <p>(主学) 教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。</p>	単元3 「友達に呼びかけてみよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。(知及び技に関する内容)</li> <li>相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。</li> <li>毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。(学・人に関する内容)</li> </ul>
12	<p>(知及技) 身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。(小2段階：A(ウ))</p> <p>(思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。(小3段階：C(ア))</p> <p>(学・人) いろいろな言葉にふれ、親しみをもち、取り組むことができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。</p> <p>(思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。</p> <p>(主学) いろいろな言葉にふれ、親しみをもち、取り組もうとしている。</p>	単元1 「身近なものの名前を知ろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物、乗り物、身体部位、生活用品など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。(知及び技に関する内容)</li> <li>習った言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。(思判表力に関する内容)</li> <li>カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。(学・人に関する内容)</li> </ul>	

2 学 期	22	(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力) 絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中1段階: Cア) (学・人) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中1段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) 好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。 (主学) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元2 「絵本の読み聞かせ②」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階: Bイ) (学・人) 文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。 (主学) 文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元3 「自分で選んでやってみよう」	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。(知及び技に関する内容) ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。(思判表力に関する内容) ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。(学・人に関する内容)
3 学 期	5	(知及技) 様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力) 簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小3段階Bウ) (学・人) 様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。(中1段階)	(知・技) 筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。 (思判表力) 簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。 (主学) 様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元1 「道具を使って書いてみよう」	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。(知及び技に関する内容) ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。(思判表力に関する内容) ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力) 自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりすることができる。(高1段階: ウ(ウ)) (学・人) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中2段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) 好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。 (主学) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきこうとしている。	単元2 「絵本の読み聞かせ③」	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。(知及び技に関する内容) ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。(思判表力に関する内容) ・図書館で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技) 短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階ウ(ア)) (思判表力) 短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階C工) (学・人) 友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。(中2段階)	(知・技) 短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (主学) 友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元3 「やりとりを楽しもう」	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。(知及び技に関する内容) ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。(思判表力に関する内容) ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。(学・人に関する内容)
	留意点 引継ぎ等				